

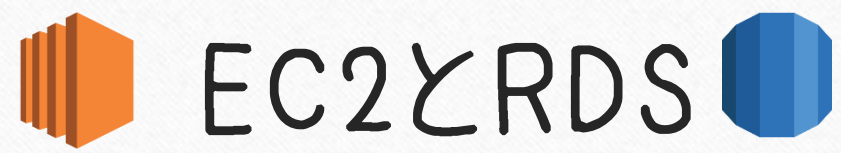
最速でJavaエンジニア になって稼ぐ

2019/02/02

人生逃げ切りオンラインサロン内

目次的なやつ

- EC2とRDS
- EC2とRDSを立ててみる
- WebアプリケーションのDB接続先をRDSにしてみる
- EC2上でWebアプリケーションの起動と動作確認
- (参考)現場でよく使う環境構成



- EC2とはAWS上で提供されるサービスの一つで「Elastic Compute Cloud」の略称です。
- 仮想コンピューティング環境と呼ばれ、端的に言うなら任意のOSが搭載されたサーバーを仮想的に構築できるサービスです。
- 仮想的に構築と言っても、ほぼ実体に近い形で構築が出来る為、利用や操作にあたって困る事は殆どないです。
- また大きなメリットとしてインスタンスタイプと呼ばれるスペックの型がいくつか用意されており、それを任意のタイミングで変更できる事が強みです。
必要な性能を必要な時に必要なだけ、というコンセプトです。
- AWS全体を通してになりますが、料金は従量課金なので使った分だけになります。性能による差はありますが、上述の通りスペックも任意なので必要な分しかかかりません。

- RDSは「**Relational Database Service**」の略称で、AWSが提供するDBのサービスの事です。
- EC2が任意のOSであったのと同様に**任意のDBを選択して利用する事が出来ます**。インスタンスタイプなどの考え方も同様です。
- EC2上にDBをインストールして環境構築する事も可能ですが、RDSのメリットはその**インストール作業自体を簡略化出来る事**、またAWSのサポート範囲として**自動的にバックアップを取得したり、障害対応としてDBをコピーした状態で稼働させてくれたりします**(見た目は1台でも実際には2台構成)。
- ただし、EC2上に自前で構築するのに比べて料金は多くかかります。またRDS固有の設定や制約があり、モノによってはその制約が業務上問題になる場合もあります。
- 基本的にはメリットが勝ちますが、そういった要素が有る事も考慮がいります。

EC2とRDSを立ててみる

前回の参考サイトを見ながら、EC2とRDSを
構築します。

EC2については前回のJenkinsとほぼ同じです。

(下準備編)世界一丁寧なAWS解説。EC2を利用して、RailsアプリをAWSにあげるまで

https://qiita.com/naoki_mochizuki/items/f795fe3e661a3349a7ce

(DB・サーバー構築編)世界一丁寧なAWS解説。EC2を利用して、RailsアプリをAWSにあげるまで

https://qiita.com/naoki_mochizuki/items/22cfbf4bf7ec95f6ac1c

WebアプリケーションのDB接続先を
RDSにしてみる

アプリ側の設定変更をします。
今のままだとローカルのDBしか見てくれない
ので、接続先を変更します。
本番用と開発用という感じで分けます。

AWS EC2上で Spring Bootアプリ起動

<https://www.magata.net/memo/index.php?AWS%20EC2%BE%E5%A4%C7%20Spring%20Boot%A5%A2%A5%D7%A5%EA%B5%AF%C6%B0>

AWSクラウド環境の構築からSpring Bootアプリのデプロイまで(初心者向け)

<https://qiita.com/KevinFQ/items/119521ebd12bb7890761>

EC2上でWebアプリケーションの起動 と動作確認

同じ参考サイトを見ながら進めます。

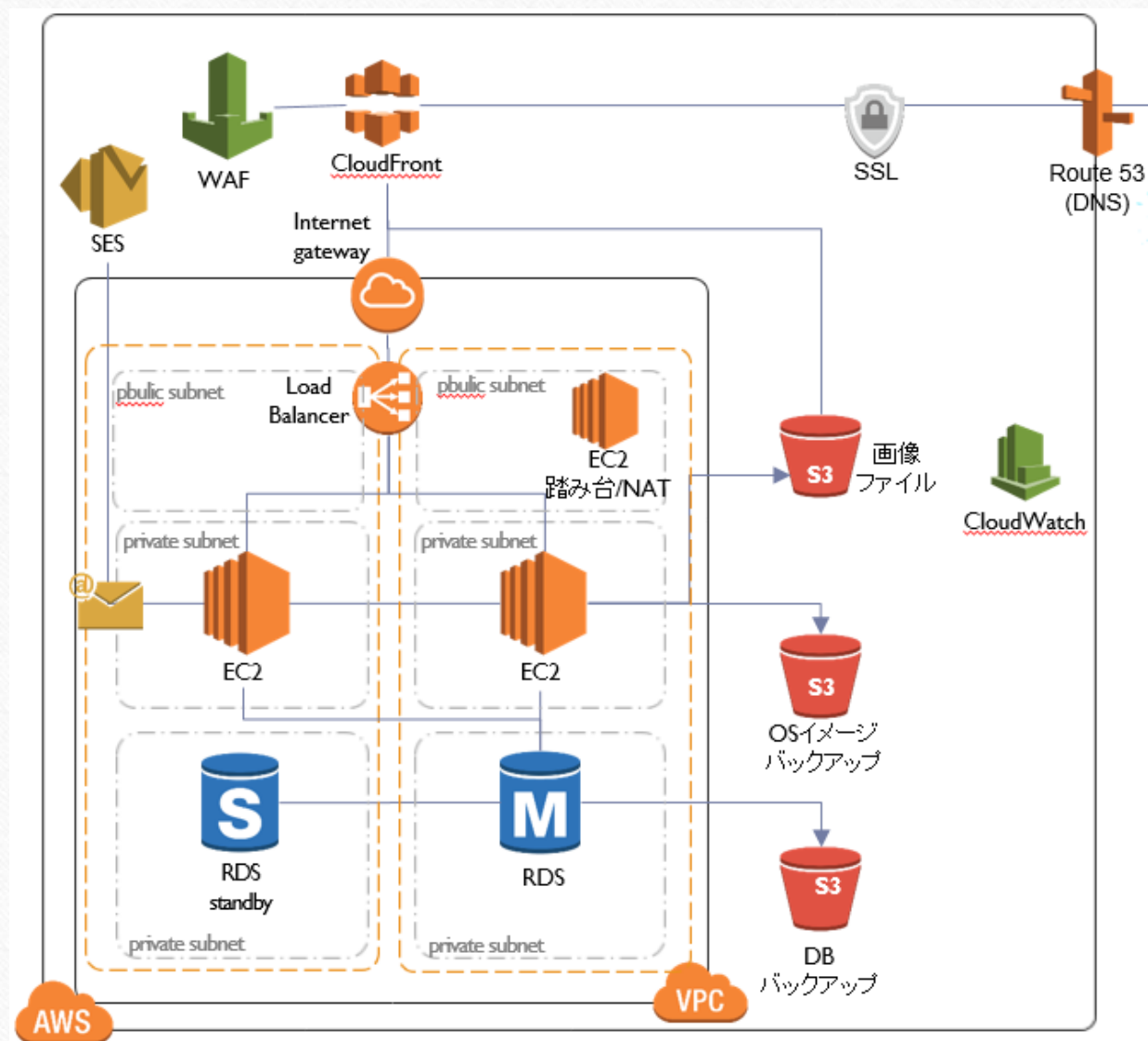
AWS EC2上で Spring Bootアプリ起動

<https://www.magata.net/memo/index.php?AWS%20EC2%BE%E5%A4%C7%20Spring%20Boot%A5%A2%A5%D7%A5%EA%B5%AF%C6%B0>

AWSクラウド環境の構築からSpring Bootアプリのデプロイまで(初心者向け)

<https://qiita.com/KevinFQ/items/119521ebd12bb7890761>

(参考)よく使う環境構成



次回までの宿題

AWS上でアプリの起動確認まで。
次回は今日やったデプロイ作業を自動化
(CDの実現)します。

おしまい